平成30年７月１日発行（毎月１回１日発行）通巻第647号

林業福島

No. 647

題字　公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長　齋藤卓夫

ふくしまから
はじめよう。
Future From Fukushima.

7
2018

監　　修■福島県農林水産部
表紙の写真■諏訪神社の御柱

第69回全国植樹祭を開催して

福島県農林水産部長
佐　竹　　浩

六月十日（日）、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、第六九回全国植樹祭を南相馬市原町区雫地内の海岸防災林整備地で盛大に開催することができました。

御来場いただいた招待者の皆様からは、すばらしい大会であったとのお褒めの言葉をいただきました。

このように、大会を成功裏に終了することができたのも、関係各位の並々ならぬ御尽力の賜であります。

この場をお借りして、大会の準備及び運営に御協力をいただいた関係各位に改めて心から感謝を申し上げます。

さて、本大会は、「ふくしまから発信する森林づくり」の大会コンセプトの下、千年に一度の大災害から復興した海岸防災林を会場に、植樹活動による人と人とのつながり、ふるさとへの思い、未来への希望を国内外に発信する、被災地において初めての大会として開催いたしました。

そのため、例年の大会にはない本大会独自のプログラムとして、東日本大震災の復興支援への感謝の気持ちを、国の天然記念物に指定されている「三春滝ザクラ」と新品種の八重桜「はるか」の苗木に添えて、全国の都道府県と駐日外国公館へ贈呈いたしました。当日は、復興大臣立会いの下、本県知事と女優の白羽ゆりさん（福島市出身）から、愛知県知事と駐日オマーン・スルタン国大使に苗木をお渡ししました。また、両陛下によるお手植え・お手播きの後、震災で被災した海岸防災林の再生を進めるため、皇居から採取した種から育て、長野県、富山県そして本県にリレーされたエノキの苗木を、両陛下にお見守りいただきながら、復興大臣に植樹していただきました。

そのほか、メインアトラクションは演劇やダンスにより構成し、大会テーマ「育てよう　希望の森を　いのちの森を」や県民が明るく希望を持って未来に向けて進む姿を、二本松市出身の洋画家「高村智恵子」とその夫である彫刻家・詩人「高村光太郎」をモチーフに、高校生が演じることで、福島の元気を発信したところであります。

現在、震災とこれに伴う原発事故により、本県の森林を取り巻く環境は大きく変化しておりますが、今回の大会を契機に、震災前から取り組んできた県民一人一人が参画する森林づくり活動を一層推進するとともに、緑豊かなふるさとの再生を始めとした、本県の復興・発展を加速してまいりますので、引き続き関係各位の御協力をお願い申し上げます。

《も　く　じ》

とびら
第69回全国植樹祭を開催して
　福島県農林水産部長　佐　竹　　浩… 1
平成30年６月10日　第69回全国植樹祭を
開催しました！　…… 2～4
第47回全国林業後継者大会2018福島大会
inいわきを開催しました…… 5～6
大玉村県民の森に「花の森」「樹の森」を整備… 7
普及指導員通信…… 8
森連だより…… 9
公社だより…… 10
木に触れて豊かな心を育む「木育」④… 11
木材市況・ふくしま東西南北…… 12
はなしのひろば・お知らせコーナー…… 13

第69回 全国植樹祭 ふくしま 2018
育てよう 希望の森を いのちの森を

平成30年６月10日(日)
第69回全国植樹祭を開催しました!

平成30年６月10日(日)、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、8,000名の参加のもと、南相馬市原町区雫地内の海岸防災林整備地を大会会場として「第69回全国植樹祭」を開催しました。

当日は朝から雨模様でしたが、徐々に天候も回復し、無事に幕を閉じることができました。

この大会を通して、本県の森林林業の再生を推進し、震災以降の国内外からの支援に対する感謝の気持ちを広く発信しました。

式典行事

プロローグ　－ 心から感謝をこめて －

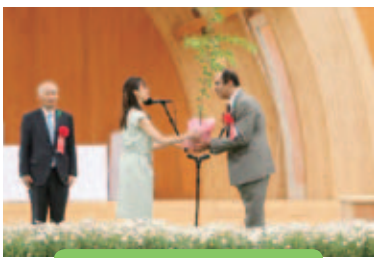
プロローグでは、浜通り、中通り、会津地方それぞれの民俗芸能や震災からの復興を象徴するアトラクションを行いました。

また、平成28年度から県内の全市町村を巡った「森林(もり)とのきずなづくり植樹リレー」のゴールセレモニーなどを行いました。

フラ

山木屋太鼓
・霊山太鼓

会津彼岸獅子



東日本大震災
復興支援への感謝

森林(もり)とのきずなづくり
植樹リレーゴールセレモニー
(南相馬市出身で初代山の神の今井正人さん)

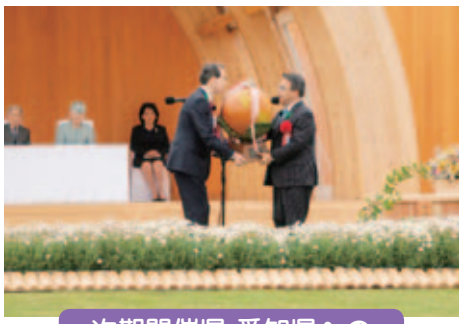
記念切手の贈呈

記念式典　－ 育てよう　希望の森を　いのちの森を －

記念式典では、天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播きや各種表彰のほか、大会テーマ「育てよう　希望の森を　いのちの森を」を表現したアトラクションを行いました。

天皇陛下によるお手植え

皇后陛下によるお手播き



次期開催県 愛知県への
「木製地球儀」の引き継ぎ

大会テーマ表現

エピローグ　－ 未来に向かって －

エピローグでは、開催地域の伝統文化を基に、東日本大震災からの復興と再生に向け、県民が力強く進んでいく姿を表現しました。

相馬野馬追騎馬武者行列

「相馬流山」の主題による変奏曲

グランドフィナーレ（大会テーマソングの大合唱）

植樹会場

大会会場に隣接する海岸防災林約4.6haにおいて、参加者の皆様による記念植樹を行いました。

植樹には、「苗木のスクールステイ」や「苗木のホームステイ」等、多くの県民の方々に育てていただいた苗木を用いました。

植樹会場の様子

サテライト会場・PR会場

サテライト会場（ふくしま県民の森）、PR会場（福島駅東口駅前広場、郡山駅西口駅前広場、白河駅前イベント広場、会津総合運動公園）では、木工体験コーナー、ステージイベント、ご当地グルメなど盛りだくさんの内容で、多くの方にご来場いただきました。

また、サテライト会場では記念植樹が行われ、たくさんの皆様に植樹活動に参加いただきました。

第47回全国林業後継者大会2018福島大会 inいわきを開催しました

平成30年６月９日(土)に「いわき市芸術文化交流館アリオス」において、第47回全国林業後継者大会を開催しました。

「全国林業後継者大会」は、昭和45年に猪苗代町で開催された「全国林業後継者のつどい」が先駆けとなっており、再び本県の地で第69回全国植樹祭の関連行事として、「未来へと　つなげる心　森林(もり)づくり」をテーマに開催し、全国の林業後継者が一堂に会し、森林づくりへの先人の考えや担い手としての日ごろの取組について意見を交わし、豊かな森林を次世代に継承する思いを全国に発信しました。

当日は、県内外から約460名が参加しました。

○主　催

福島県林研グループ連絡協議会、全国林業研究グループ連絡協議会、いわき市、福島県

○後　援

林野庁、一般社団法人全国林業改良普及協会、公益社団法人大日本山林会

１　オープニングプログラム

オープニングプログラムでは、「復興に向かう　ふくしまの森林林業」と題した、出演者の林業に従事する姿や森林林業への思いなどのインタビュー映像を放映しました。

この映像は、本県における林業後継者の思いが詰まったものとなりました。

オープニング映像の放映状況

２　開 会 式 典

開会式典は、第47回全国林業後継者大会実行委員会会長である豊田新一福島県林研グループ連絡協議会会長の開会の言葉で大会が始まりました。

豊田会長は、平成28年12月に開催された第１回目の実行委員会から会長を務めていただき、大会を盛り上げるため御尽力いただきました。

また、主催者である畠利行福島県副知事、鈴木英元全国林業研究グループ連絡協議会副会長からの御挨拶や清水敏男いわき市長から歓迎の言葉、沖修司林野庁長官、中山聡一般社団法人全国林業改良普及協会専務理事から来賓祝辞をいただきました。

開会のことば（実行委員会会長（福島県林研グループ連絡協議会会長）　豊田新一氏）

主催者あいさつ（福島県副知事　畠利行氏）

歓迎の言葉（いわき市長　清水敏男氏）

来賓祝辞（林野庁長官　沖修司氏）

３　活動発表とトークセッション

活動発表とトークセッションでは、京都府立林業大学校客員教授で高知県立林業大学校特別教授の藤野正也氏をコーディネーターに迎え、現在まで林業を支えてきた先輩方からの発表、会津・中通り・浜通りそれぞれの地域で現在林業に従事する世代の優良な活動事例や森林づくりの取組に関する現役世代からの発表、先輩方と現役世代によりこれからの福島県の林業についてパネルディスカッションを行いました。

その後休憩とアトラクション（にな☆コレ2018）をはさみ、大学生、高校生、中学生のそれぞれの世代から、現在の林業及びこれからの林業に対する思いや自らが行う活動について発表していただきました。

トークセッション

鼎談等「先輩方からの発表」（田子英司氏、山本壽美子氏、佐藤英一郎氏）

活動発表「現役世代からの発表」（水野廣人氏、松澤瞬氏、緑川平隆氏）

コーディネーター（藤野正也氏）

活動発表「次世代からの発表」（福島大学とげっちょ組　七海航平氏）

活動発表「次世代からの発表」（天栄村立天栄中学校　渡部貴寛氏、鈴木穂花氏、内山巧稀氏）

活動発表「次世代からの発表」（福島県立会津農林高等学校　山浦悠暉氏、入倉和哉氏）

4　アトラクション

活動発表とトークセッションの途中、アトラクションとして『にな☆コレ2018』（林業担い手コレクション2018）を開催しました。

このアトラクションでは、防護服や作業着を着た若手の林業担い手が最新の防護服などをまとい林業のかっこよさ、楽しさについてPRを行いました。

にな☆コレ2018

5　閉会式典

県内を代表して２名の若き林業後継者に大会宣言を行っていただきました。

その後、次期開催県の愛知県実行委員会会長より御挨拶をいただき、最後は福島県林研グループ連絡協議会の早矢仕恵子副会長の閉会の言葉で式典を閉じました。

大会宣言（豊田和弘氏、平子睦美氏）

閉会のことば（福島県林研グループ連絡協議会副会長　早矢仕恵子氏）

6　展示と物販

いわき観光まちづくりビューローによる地元いわきの特産品の物販や福島県における林研グループ活動紹介、東日本大震災からの復興等に関わる取組についてのパネル展示を行いました。

パネル展示

福島県林研グループ連絡協議会の展示

いわき市の観光PR

7　交歓の夕べ

大会の後は「グランパルティいわき」に会場を移し、交歓の夕べを開催しました。

アトラクションではハーラウラウラーナニによるフラダンスの披露があり、会場を盛り上げていただきました。

大玉村県民の森に「花の森」「樹の森」を整備

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会　緑化推進局

第六九回全国植樹祭の連携事業として、「福島県五九市町村樹の森づくりプロジェクト実行委員会」が「樹の森」を、「花と緑いっぱいのふるさとづくりプロジェクト実行委員会」が「花の森」をサテライト会場の大玉村県民の森の一角に整備し、県に寄贈しました。

「樹の森」は、福島民報社創刊一二五周年記念事業「ふるさと大好き五九市町村応援プロジェクト」の集大成にも位置付けられ、県民の森一区画約五アールに県と五九市町村の木合わせて二五種類を植えました。完成式典は、五月二〇日に現地で行われ、地元大玉ＦＣスポーツ少年団の子どもたち約一〇〇人が参加し、当協会齋藤卓夫会長、佐竹浩福島県農林水産部長、押山利一大玉村長があいさつしました。齋藤会長、佐竹部長、押山村長に加えて、諸井道雄（一社）福島県造園建設業協会長、大玉ＦＣスポーツ少年団の柳沼朔君、小沢楓雅君らがケヤキの植樹を行い、最後に、福島県と五九市町村の木を紹介する表示板を除幕しました。

「花の森」は、五九市町村に花壇を設ける「ふくしまを花で飾ろう『市町村の花』の花壇プロジェクト」の集大成として整備しました。五九市町村の花のうち、約三アールの面積に県民の森の環境に適する三四種類の花々を植えました。完成式典は、五月二五日に現地で行われ、地元の園児たち約一一〇人が参加し、五阿弥宏安福島民友新聞社社長、佐藤新太郎県北農林事務所長、押山村長があいさつしました。大玉村の大山、玉井両幼稚園の園児たちがメッセージレンガを積み上げ、花壇の仕上げ作業を行いました。齋藤会長、佐藤所長、押山村長、五阿弥社長、望月大輔農林中央金庫福島支店長、佐藤吉郎大玉村教育長、甲斐敬市郎（公財）ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団副理事長に加えて、代表園児十人が県の花「ネモトシャクナゲ」を植樹しました。最後に、園児全員で飾り花の植栽をしました。

「樹の森」「花の森」ともに、県民の森で行なわれている森林ボランティアの育成や小中学生の森林環境学習に活用され、県土の豊かな緑を守る多様な人材を育てるフィールドとしての活用が期待されております。

「樹の森」ケヤキ植樹

「樹の森」除幕

「花の森」飾り花の植栽

「花の森」完成！

普及指導員通信

カラマツ種子の確保と苗木栽培に向けた取組

会津農林事務所
林業普及指導員　小　池　陽　子

近年、合板向け国産材需要が増加し、なかでも価格の高いカラマツが再造林樹種として関心が高まりつつありますが、福島県内にはカラマツ種子の採取源となる母樹がないことから、種子を県外から購入せざるを得ない状況にあります。

会津農林事務所では、会津流域林業活性化センターと連携し、再造林を進める一つの手段として、平成28年度から地元でのカラマツ種子採取の可能性を検討し、球果着果促進のための試験的な取組を行ってきました。（H29．9「林業福島」普及指導員通信参照）

平成29年度からは、カラマツ球果の採取と種子の生産、苗木の試験栽培の取組を行っていることから、その内容を紹介します。

林業種苗法施行規則によると、カラマツ配付用種子の採取時期は９月１日以降となっていますが、その年の気象条件によっては、それよりも早く球果が開き種子が飛び散ってしまうこともあることから、８月中旬の比較的早い時期に球果の採取を実施しました。

日当たりのいい林縁部や単独で植栽されているカラマツに球果が付いていることが多く、前もって着果状況を確認していた会津若松市と会津美里町の２箇所から、高所作業車や脚立を使って採取を行い、２箇所で約20kgの球果を採取しました。

その後、風通しのいいところに球果を広げて乾燥させ、自然に球果が開いた後、種子の採取を行いました。手作業で行ったこともあり、かなり手間の掛かった採取となりました。

今年春からは、管内のスギ苗木生産者３名に昨年採取したカラマツ種子の一部を配布し、試験栽培に取り組んでいます。５月上旬に播種し、６月中旬時点において発芽は順調ですが、発芽後に立ち枯れしてしまうものもありました。今回、試験栽培に取り組んでいる苗木生産者は、スギを中心に生産しており、カラマツでは生育管理においてスギと異なる部分も多く、今後の経過を観察し、試験栽培の結果を検証していく必要があります。

将来的には、カラマツ苗を会津地域で安定供給できるよう、県林業研究センターなどとも連携し、各種実証試験の結果を今後の種子の採取・保存、栽培技術の定着に結びつけるとともに、苗木生産者の新規参入促進につなげていきたいと考えています。

高所作業車による球果採取

採取した球果

発芽したカラマツ

森連だより

第67回通常総会を開催

福島県森林組合連合会

本会の第六七回通常総会は、去る五月二五日福島市杉妻会館において開催しました。

秋元公夫代表理事会長の挨拶に続いて、系統利用優良組合・永年勤続役職員の表彰と本会退任役員へ感謝状の贈呈を行いました。

議長には、武藤寛会津北部森林組合代表理事組合長が選出され、議事が執り行われました。

平成二九年度は、森林組合系統運動方針「Ｊ　Ｆｏｒｅｓｔ森林・林業・山村未来創造運動～次代へ森を活かして地域を創る～」の理念を念頭に、中長期の新たな目標を策定し、事業量の確保拡大を図った結果、年度末決算では剰余金を計上しました。

秋元代表理事会長挨拶

三〇年度の事業計画は、組織・経営基盤強化を図り、安定した揺るぎない体制の構築に努めること、事業運営課題は、個別事業ごとに新たな視点から事業運営の見直しを行うこととしております。

また、引き続き、ふくしま森林再事業が柱となる森林整備関連事業の円滑な事業執行に県内森林組合とともに積極的に取り組み、本県森林・林業の再興、発展に尽力すると同時に、新たな事業展開のための検討も系統全体として行っていくことを総括とし、部門ごとに設定した基本方針が承認されました。

各部門の事業計画は次のとおりです。

◎指導部門

①　系統運動方針「Ｊ　Ｆｏｒｅｓｔ　森林・林業・山村未来創造運動～次代へ森を活かして地域を創る～」の推進
②　森林再生と森林除染の推進
③　森林整備担い手対策基金事業の推進
④　緑の雇用事業の取りまとめ、指導
⑤　福島県森林認証普及推進事業の取り組み
⑥　指導監査の実施と事後指導の実施
⑦　原発事故関連損害賠償請求の支援

◎販売部門

①　いわき木材流通センター、会津共販の取扱量の増大及びサテライト市場による原木供給体制の構築
②　間伐材の有効利用と販売体制の強化
③　合板材等の直送化の推進
④　森林組合木製品、林産物の販売拡大
⑤　森林認証材の取り扱いの推進

◎森林整備部門

利　用

①　ふくしま森林再生事業・森林除染関連業務等の拡大
②　職員の資格取得と森林組合支援体制づくり
③　林道・作業道等測量設計業務の確保
④　森林保険の加入促進と損害調査の迅速化
⑤　各種保険の加入促進

購　買

①　森林整備関連資材取り扱いの販売強化
②　しいたけ原木販売事業量の確保
③　優良苗木の販売事業量の確保
④　生活関連物資の販売強化

金　融

①　森林組合事業資金の確保と貸付
②　制度資金の普及と貸付業務の迅速化

続いて、任期満了に伴う役員改選が行われ、次の方々が選任されました。

代表理事会長	秋　元　公　夫	（再任）
副会長理事	清　野　邦　夫	（再任）
代表理事専務	松　本　秀　樹	（再任）
常勤理事	遠　藤　誠　寿	（再任）
理　事	井　上　賢　治	（再任）
理　事	村　田　久　男	（新任）
理　事	富　永　盛　彦	（新任）
理　事	馬　場　久　一	（再任）
理　事	田　子　英　司	（再任）
代表監事	武　澤　治　平	（再任）
監　事	矢　吹　盛　一	（新任）
監　事	鈴　木　章　一	（新任）

総会においての表彰者は次のとおりです。

［表彰者名簿］

○平成二九年度系統利用優良組合

販売部門　会津若松地方森林組合
購買部門　相馬地方森林組合
森林保険部門　双葉地方森林組合

○感謝表彰

渡邉　恒雄（前県森連副会長理事）

○功労者表彰

永年勤続役員（勤続十二年以上）

渡部　愼一（会津若松地方森林組合）
馬場　久一（南会津森林組合）

永年勤続職員（勤続三〇年以上）

大楯　聡子（福島県北森林組合）
佐藤　秀一（ふくしま中央森林組合）
佐藤　和紀（会津若松地方森林組合）
河原田信弘（南会津森林組合）
髙橋　一哲（福島県森林組合連合会）
岡崎　孝哉（福島県森林組合連合会）

永年勤続職員（勤続二〇年以上）

近藤　圭造（西白河地方森林組合）
八巻　祐介（西白河地方森林組合）
植松　英樹（相馬地方森林組合）

永年勤続技術班員（勤続五年以上）

渡邉　光栄（福島県北森林組合）
伊藤　武雄（福島県北森林組合）
近藤　雅之（福島県北森林組合）
蛭田　幸夫（東白川郡森林組合）
千葉　勝三（東白川郡森林組合）
矢吹　三郎（東白川郡森林組合）
松本　雄二（東白川郡森林組合）
鈴木あい子（東白川郡森林組合）
鈴木　静子（東白川郡森林組合）
齋藤　雄（会津若松地方森林組合）
須藤　忠安（西会津町森林組合）
岩渕　勝広（西会津町森林組合）
目黒　次夫（只見町森林組合）
馬場　和成（南会津森林組合）
平野　清司（南会津森林組合）
河原田健一（南会津森林組合）
北山　実（相馬地方森林組合）
柴田　良徳（相馬地方森林組合）
髙橋　真也（相馬地方森林組合）

感謝表彰

公社だより

第５回 定時社員総会を開催

公益社団法人
ふくしま緑の森づくり公社

去る六月七日（木）福島市「ラコパふくしま」において、第五回定時社員総会を開催しました。まず、畠利行理事長より「本県の復興は着実に前に進んできたが、県内の森林・林業を取り巻く環境は、原子力災害の影響や長引く木材価格の低迷などにより、依然として厳しい状況が続いている。このような中、当公社は、福島の緑豊かな森林を健全な姿で次世代に引き継いでいけるよう、市町村を始め、関係機関と連携を図りながら、先導的かつ効率的な森林整備に取り組んできた。今後とも、本県の森林整備を担う中核機関として、着実な経営改善に努めながら、本県森林・林業の再生を進めてまいりたい。」との挨拶がありました。

次に、来賓を代表して、日本政策金融公庫農林水産事業東北地区統轄長瀬勝彦様から御祝辞をいただき、小野町の大和田昭町長を議長に選出して議事に入り、平成二九年度の事業報告及び決算の承認、平成三〇年度の賦課金の徴収、役員の選任など合計四議案についての審議が行われ、原案どおり承認されました。

平成二九年度の主な事業実績については、次のとおりです。

①「効率的な森林整備と森林再生への取組」については、間伐を中心とした施業の重点化を図り、また、飯舘村や南相馬市において、ふくしま森林再生事業等による森林整備を再開したことに加え、関係市町村等の支援を受けながら、中核となって造林地の再生に取り組みました。

②「木材生産販売対策の推進」については、路網の整備により搬出コストの低減を図るとともに、木材需要情報の把握に努めながら、計画的に木材を生産し、木材市場での委託販売や山土場での販売などに積極的に取り組んだ結果、搬出を伴う間伐面積が二四九・三七ﾍｸﾀｰﾙ、販売額は約四、八七〇万円となりました。

③「分収造林契約変更の推進」については、専任の担当者を昨年七月から増員し交渉回数を増やした結果、「分収割合の変更」は前年度を大きく上回る十九件の同意が得られ、また、「契約期間の延長」についても、新たに五九件の同意が得られました。

畠理事長挨拶

④「普及・啓発活動の展開」については、林業担い手等の育成及び確保の支援を図るため、林業関係団体等との連携を図りながら、各種研修会等を開催し、施業技術等の習得や向上等に取り組みました。

平成三〇年度は、保育事業では間伐を中心に六四〇ﾍｸﾀｰﾙの森林の整備や二二、六七〇ﾒｰﾄﾙの作業路開設・補修など約三億六、三〇〇万円の事業を実施する予定です。引き続き関係団体等との連携のもと健全な森づくりに努めてまいりますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

公社造林地の施業状況

木に触れて豊かな心を育む「木育」④

ウッドスタート宣言（国見町）

林業福島事務局

○はじめに

国見町は、平成二八年三月五日、ウッドスタート宣言に調印し、「木」に触れて感性豊かな心の育成と木の資源（町産材）を利用した産業の振興を図るため、福島県森林環境税交付金事業も活用し「木育」の推進に取り組んでいます。

ウッドスタート宣言　調印式

○誕生祝い品贈呈

町では、町内在住者の赤ちゃんを対象に、木製の玩具を贈呈しています。この玩具は、「あつかしコロコロ」と名付けられ、東京おもちゃ美術館から講師を迎えて開催した木育セミナーの参加者が町をイメージしたデザインを考案しました。町のシンボルである阿津賀志山に見立て、中に入れる積木は町の特産品であるもも、ももの花（町の花）、あんぽ柿、おにぎり（米）の四つをかたどっており、国見町産の杉を使用して制作されています。

○木育による仕事創出

木工職人をはじめ地域の仕事創出につなげていけるよう、木育木工デザインセミナーや木育インストラクター養成講座を開催しています。平成二九年度木育セミナーでは、簡単なおもちゃをデザインし、機材を使って制作をしました、その作品はこども木育広場の遊具となっています。

○子育てサロンの開設

平成二九年五月三日にオープンした道の駅国見「あつかしの郷」内に、こども木育広場「つながる～む」が開設されました。この施設は、対象である未就学児が関心を持つ多様な木製遊具が備えられ、無料で利用することができます。平成二九年五月から平成三〇年三月の利用者は三三、〇〇〇人（月平均三、〇〇〇人）を超え多くの方に親しまれています。施設の利用者（福島市在住）は、「子どもは木製遊具で遊ぶことを楽しみにしており、これまで五～六回利用している。」と話され、近くでは祖母と孫が一緒に遊んでいる微笑ましい光景が見られました。

○おわりに

国見町のウッドスタート宣言による取組は、産業振興課が担当しており、木育による豊かな心の育成と併せ、町産材の使用や木工職人の育成など産業振興にも力を注いでいます。これらの取組により、木育が町内に広く浸透するとともに、県内でモデルとなる町産材を利用した産業振興（町の活性化）が図られるようお祈りいたします。

誕生祝い品の贈呈

誕生祝い品（あつかしコロコロ）

木育木工デザインセミナー

木育インストラクター養成講座

こども木育広場「つながる～む」

木育セミナー制作作品で遊ぶ祖母と孫

木材市況

三月の原木市場への入荷状況は、前月比四㌫減（前年比一㌫減）の三一、二七六立方㍍となっている。

販売量は、前月比三㌫減（前年比二㌫増）の三一、四〇七立方㍍となっている。

四月の価格は保合いとなっている。

素材の価格〈工場着価格〉（４月15日現在）

（単位：㎥当り千円）

区分		形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	中通り地方 当月	中通り地方 前月差	会津地方 当月	会津地方 前月差	浜通り地方 当月	浜通り地方 前月差	県平均 当月	県平均 前月差
一般用材	小	5～ 9	4.00	並	スギ	9（ 8～10）	0	（ 0～ 0）		9（ 8～ 9）	0	9（ 8～10）	0
		10～14		並		13（12～13）	1	（ 0～ 0）		12（12～12）	1	12（12～13）	0
	中	14～22	3.00	並	スギ	12（11～13）	0	11（11～11）	0	12（11～13）	0	12（11～13）	0
				並	ヒノキ	19（16～22）	△1	（ 0～ 0）		16（16～16）	0	17（16～22）	△1
			6.00	並	スギ	16（15～17）	0	11（10～12）	0	16（16～16）	0	15（10～17）	0
				並	ヒノキ	30（25～35）	0	（ 0～ 0）		22（19～24）	1	26（19～35）	1
		20~28	3.65	並	スギ	13（12～14）	1	11（10～11）	1	12（12～13）	0	12（10～14）	0
			4.00	並		12（11～12）	0	12（12～12）	0	12（11～12）	△3	12（11～12）	△1
			4.00	並	アカマツ	9（ 7～11）	0	（ 0～ 0）		10（ 9～10）	1	9（ 7～11）	0
			1.80	並		8（ 5～10）	0	（ 0～ 0）		8（ 8～ 8）	1	8（ 5～10）	0
外材	米材（定尺）	30以上	10.00	並	米ツガ	（ 0～ 0）		（ 0～ 0）		29（29～30）	1	29（29～30）	1
				並	米マツ	（ 0～ 0）		32（32～32）	0	29（28～29）	△1	30（28～32）	0
	北洋材（定尺）	28以下	3.80	並	エゾマツ	（ 0～ 0）		（ 0～ 0）		27（25～28）	△1	27（25～28）	△1
			4.00	並	アカマツ	（ 0～ 0）		（ 0～ 0）		25（25～25）	0	25（25～25）	0
				並	カラマツ	（ 0～ 0）		（ 0～ 0）		26（25～27）	0	26（25～27）	0
パルプ用材				並	マツ	7（ 7～ 7）	0	（ 0～ 0）		6（ 5～ 6）	1	6（ 5～ 7）	0
				並	広葉樹	9（ 9～ 9）	0	（ 0～ 0）		6（ 6～ 6）	0	8（ 6～ 9）	0

区分	形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	会津共販 当月	会津共販 前月差	いわき 当月	いわき 前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	（ 0～ 0）		7（ 6～ 9）	0
	13～14		並	カラマツ	（ 0～ 0）		8（ 7～ 8）	0
	16以上		並	カラマツ	（ 0～ 0）		10（ 9～11）	0

注）１．前月差の△印は値下りを示す。
２．（ ）内は各地域の価格幅、（ ）外は各地域の平均的価格を示す。
３．一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
４．各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

ふくしま東西南北

～ヲテマ小話～

福島県県中農林事務所林業課　渡辺信和

今年五月二四日の石川地方植樹祭は、式典が古殿町の越代さくら公園、記念植樹が式典会場近くのヲテマ国有林で執り行われました。ヲテマは国有林だけではなく、民有林だけでも四〇〇㌶を超える字で、とても広いのです。

林業の盛んな古殿町、その中の広大な字ということで、ヲテマという地名になじみはあったのですが、なぜカナ表記で、どんな意味、歴史が秘められているのか、不思議な地名として、気になっていました。

そこで、古殿町在住、根っからの林業一家の水野さんにその由来を教えていただきましたので紹介します。

「ヲテマ」は、東国が大和朝廷の影響下に入る前から、奥山の平らな場所の意味として、代々言い継がれてきた地名とのこと。現在の古殿町大久田全てがヲテマだったとも言われ、以降の生活や明治の地租改正によりヲテマからほかの呼び名になった土地が増えていったのではないか。云々

改めて住宅地図を眺めると、ヲテマの字は大久田の東と西に分かれ位置し分断しているようです。里からやや離れた山神様の場所がヲテマとして紡がれていったという感じでしょうか。

この記事が読まれる頃は、もう下刈りの最盛期は過ぎているかもしれませんが、今年もヲテマ国有林の分収林などで、個人の方たちが、汗を流されたことと思います。ヲテマにはその名前の不思議さとともに、山に生きる人たちの力強さを思い起こさせてくれる言葉です。

古殿といえば、越代のサクラ、三株山のヤマザクラ、流鏑馬、フラガールのロケ地、豊国酒造…、そしてヲテマ。

ヲテマ国有林での記念植樹

表紙の写真

「諏訪神社の御柱」
第14回ふくしま森林・林業写真コンクール優秀賞
受賞者　清野善男さん（いわき市）
撮影場所：伊達郡桑折町

編　集　福島県内四森林管理署
発　行　福島県森林・林業・緑化協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究・整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
（福島市中町五番一八号県林業会館内）
発行人　水戸　典明
印刷株式会社　陽光社
（定価　一〇八円）

はなしのひろば

第六九回全国植樹祭式典

第六九回全国植樹祭式典は感動だった。六月十日の天候は、朝から肌寒く、雨雲が重たく空を覆い、細かい雨が降ったり、やんだり。時折吹く浜風が冷たい。ところが、式典が始まる直前に雨は止み、天皇皇后両陛下がご退席されるまでの間、雨が降ることはなかった。皇后様はお手植えをされる際、芝生に両膝をつかれ、その瞬間、式典会場にはどよめきが起きた。そして、天皇皇后両陛下は、介添えの子どもたちに優しくお声をかけられ「時々成長しているところを見に来てくださいね」とお話しをされたという。また、女子高校生の髪をしばったリボンの緑色のなんとさわやかなこと。

プロローグから記念式典、そしてエピローグまで、式典進行、式典音楽、アトラクション等々、総勢九〇〇名がそれぞれの役割を精いっぱい熟し、淡々と淀みなく進められた二時間だった。天皇皇后両陛下がご退席される時、式典会場の参加者が日の丸の小旗を振ってお見送りをしたのだが、その振られた小旗が波のように揺れ、その揺れはまさに緑豊かな県土再生へのうねりのようだった。その式典二日後、内堀県知事は、定例記者会見で十一月四日、南相馬市鹿島区の海岸防災林整備地で「ふくしま植樹祭」を開催すると発表した。全国植樹祭で一本になったたくさんの植樹への思いが更に延びていくことに感銘をおぼえる。「緑」には人の心を揺さぶる力がある。

かつて、高見順（作家）は、森林を「葉と枝は人に見せ、大切な根は人には見せない。」と書いた。「根源」という大切さと見える部分は必ず見えない部分が支えているという教えではないだろうか。

「ふくしま植樹祭」の根が県土いっぱいに張り巡らされていくことを願う。

（都）

お知らせコーナー

第15回ふくしま森林・林業写真コンクール 作品募集

森林の大切さとそれを支える林業の重要性を広く認識していただける作品を募集しています。

１　テーマ
下刈・間伐等の森林整備作業、木材の利用、特用林産物（炭焼き、きのこ栽培、漆等）、里山風景、森林レクリエーションなど福島県内の森林・林業に関するもの

２　応募資格
アマチュアで、作品は福島県内で撮影した自作の未発表の作品
なお、特別賞として高校生以下の部を設けています。

３　作　品
カラープリント、四ツ切・ワイド四ツ切（デジタル可）

４　応募締切
平成30年９月18日（火）（当日消印有効）

５　お問い合わせ先
公益社団法人
福島県森林・林業・緑化協会
役員室（TEL 024－573－0235）
作品応募の申込書は、協会のホームページ（http://www.fukurin-net.jp）より、ダウンロードできます。

（作品募集案内）

第３回福島県きのこ料理コンクール 作品募集

きのこに対する正しい知識とその利活用の普及啓発に向けて、県産きのこを用いたオリジナルのきのこ料理を募集しています。

１　応募資格
16歳以上または高校生以上で、県内在住の方
応募は、個人（グループの場合は代表者）に限ることとし、一人１作品

２　応募条件
- 福島県内で生産されたきのこを使用している未発表作品
- 材料費は４人分2,000円以内で、調理時間は１時間以内

（第２回最優秀賞）

３　日　程
応募締切　平成30年９月28日（金）（必着）
本審査（調理審査）
期日　平成30年11月23日（金）（祝日）
場所　郡山市安積町「郡山市安積総合学習センター」

４　全国大会
最優秀作品は、全国大会へ県代表として出場

５　お問い合わせ先
公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
きのこ振興センター（TEL 024－947－2188）

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。

1 火災

山火事で受けた損害

2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害

3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害

4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害

5 干害

乾燥による枯死などの損害

6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害

7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害

8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》
竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255㈹

または最寄りの森林組合

イワフジのGPシリーズ **GP-35Bグラップルプロセッサ**

IWAFUJI INDUSTRIAL CO., LTD.

傾斜地に対応した全旋回チルトプロセッサ
- 最大38度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
- 全旋回ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
- サイドカッター解除機能により曲がり材に対応
- 大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材

最新のGP-8コントローラを搭載
- 5.7インチカラー液晶ディスプレイによる多彩な情報表示
- 感圧式タッチパネル採用により操作性が向上
- A,B,C,Dの4コード毎に4種類、合計16種類の測長設定値
- 樹種を4種類登録でき、個別に材長調整値の設定が可能

新開発のスタッドローラ(オプション)
- 鉄輪の全周に装着された無数のスタッド(鋲)が材を強力に捉え、送りモータのトルクを伝えます。
- 特殊形状のスタッドを一体化したシンプルな構造で、メンテナンス

For the future with forest

イワフジ工業株式会社
www.iwafuji.co.jp

（北関東支店） 福島県郡山市八山田5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168
（本社・工場） 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西5-1
（支　　店） 札幌・東北・北関東・関東・中部・関西・九州

林業福島 七月号 通巻第六四七号
昭和四十二年二月二十四日第三種郵便物認可
平成三十年七月一日発行（毎月一回一日発行）
監修 福島県農林水産部
編集発行人 水戸 典明
発行所 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
福島市中町五番十八号 県林業会館内
定価一〇八円
年間購読料一、九〇〇円（税・送料込）

レインボー薬品の薬剤と資材

緑地管理の未来をひらく

わたしたちは、人と自然の調和を考えながら、より良い緑の環境づくりを目指しています

松くい虫予防薬剤
ヤシマスミパイン乳剤
スミパインMC
マツグリーン液剤2
グリンガード・NEO

くん蒸剤
ヤシマNCS

くん蒸用生分解性シート
くん蒸与作シート

ハチ退治
ハチノックL（巣処理用スプレー）
ハチノックS（携帯用スプレー）

レインボー薬品株式会社
東京都台東区上野1-19-10
お問い合わせ　TEL. 03(6740)7777
平日 9:00~17:00（土・日・祝日は休み）

ZENOAH®
人と共に　緑と共に

For Professional
BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

For Professional
GZ3950EZ
排気量 39.1cc
GZ4350EZ
排気量 43.1cc

ZHM1550RR
刈幅：1500mm　出力：27.5kW

SR3100
破砕径：200mm 出力：18.4kW

ハスクバーナ・ゼノア㈱ 福島県代理店
(有) うねめ林業機械
TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1